

活動名称 (40字以内)	中世の時代が輝く島根県益田市歴史観光プログラム企画開発プロジェクト		
団体名等	島根県益田市 市長 山本浩章		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動		<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動	募集人数	1 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
活動方法	<input checked="" type="checkbox"/> 現地活動を予定しています。コロナウイルス感染状況により、直前にオンライン実施に切り替える可能性があります。 <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う		
大学院学生	<input type="checkbox"/> 含む <input checked="" type="checkbox"/> 含まない		
参加資格等	学部学生		
活動期間	2023/9/12(火) ~ 2023/9/15(金)	主な活動予定場所	島根県益田市
	3泊4日		
目的	<p>島根県益田市は、中世の時代に大きく繁栄し、当時の史跡や古文書等がまともに残る全国でも稀有な地域と言われている。特に、領主益田氏の家文書は、「益田家文書」として東京大学史料編纂所に所蔵されており、『大日本古文書 家わけ第二十二 益田家文書』として刊行され、多くの中世史研究者が注目するところである。こうしたこともあり、現在は、東京大学史料編纂所、国立歴史民俗博物館、島根県などと益田市による学際的な研究が大きく進んでいる。令和2年6月には文化庁が認定する日本遺産(※①)に認定され、中世の益田への注目はさらに高まっている。</p> <p>一方、現代の益田市は、「過疎」発祥の地とも呼ばれ、人口減少と少子高齢化、交通インフラの未整備、産業の規模が小さいといった課題がある。近年、中世の益田の歴史を活かした交流人口拡大の取り組みが行われているが、中世が一般的にはなじみのない時代であることから、これを十分活かし切れていない現状がある。</p> <p>さらに、新型コロナウイルスの影響から観光客が減少し、益田市にある萩・石見空港の利用者数も減少している。そこで、益田市内の中世の史跡等のフィールドワークを通して、中世の益田及びこれを活かした取り組みについての理解を深め、萩・石見空港を活用し、観光客が魅力を感じる旅行商品化を想定した企画を提案することを目的とする。</p> <p>※①…日本遺産とは、「地域の歴史的魅力や特色を通じた我が国の文化・伝統を語るストーリー」を文化庁が認定するもの</p>		
具体的な内容 (800字程度)	<p>益田市は今から800~400年前の中世に大きく繁栄し、また当時の様々な文化財や美術品が豊富に残り、それらから魅力的な歴史が事実として判明し、「中世文化の薫るまち」と称されている。</p> <p>それは、(1)当時の領主であった益田氏の城・七尾城跡や館・三宅御土居跡といった遺跡、(2)益田氏ゆかりの萬福寺・医光寺といった寺院、(3)益田氏が招いた画聖雪舟がそれらの寺院に築いたといわれる庭園、(4)こうした益田氏の政治・軍事・文化を支えた経済基盤である日本海交易の様子と湊町の遺跡、などであり、中世の時代を伝えるまちとしては、東の鎌倉に対し西の益田と言っても過言ではない。</p> <p>令和2年6月には上記等を構成文化財としたストーリー「中世日本の傑作 益田を味わう 一地方の時代に輝き再び」が、文化庁が認定する日本遺産に認定され、中世の益田は改めて評価されている。益田市としても、日本遺産認定を契機に、市民への普及啓発や史跡等の環境整備を行い、歴史を活かしたまちづくりとともに観光客の受け入れ体制の構築を図っている。</p> <p>しかし、観光客の減少、空港利用者の減少と、観光誘客面では厳しい状況が続いている。</p> <p>そこで、市内フィールドワークや意見交換を交え、萩・石見空港を活用した益田の中世を魅力的に紹介する商品化を想定した企画を提案する(金額設定を含む)。</p> <p>①事前学習 ・東京大学史料編纂所HP、益田市HP等で益田家の古文書の閲覧や、中世益田の魅力や取り組みについて予習をお願いします。(必要と思われる資料・パンフレット等は事前に送付します。)</p> <p>②現地フィールドワーク(FW) 9/12 10:20 萩・石見空港着 - ホテルチェックイン～昼食 - 午後 益田市概要・日本遺産の取り組み、質疑応答・意見交換 9/13 終日 FW 9/14 終日 FW 9/15 午前 質疑応答・意見交換 10:55 萩・石見空港発</p> <p>③事後報告 企画した旅行商品をパワーポイントで作成し、益田市に提出。</p> <p>※旅行商品の企画にあたっての注意点。 1) 独自にターゲットを設定すること。 2) 益田市ならではのものとし、実現可能性を有するものとする。こと。 3) 企画にあたっては必要に応じ、関係機関との調整を図ること。 4) 旅行商品の内容は観光客の滞在時間の延長につながり、観光消費額の増加に寄与するものであること。 5) 旅行商品は金額、所要時間を設定すること。 6) 旅行商品の金額は、交通費、宿泊費、食費、入館料などを含めた旅行全体にかかる金額を算出すること。 7) 萩・石見空港の利用を前提とした企画とすること。</p>		

備 考					
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)		その他*特記事項は以下に記載		
	バック	65,000 円	※本プログラムは原則、益田市内での活動となります ※参加するための費用は目安となります。プログラム日程が確定次第、ご案内いたします ※プログラム日程は参加者の要望をヒアリングの上、調整いたします ※プログラム参加者には要件にもよりますが、益田市より最大20,000円の補助があります		
移動費	5,000 円	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="807 518 1254 600">奨励金額</td> <td data-bbox="1254 518 1601 600">40,000円(予定)</td> </tr> </table>			奨励金額
奨励金額	40,000円(予定)				
計	70,000 円				
ウェブサイト等	<ul style="list-style-type: none"> ●益田市ホームページ「観光情報」 https://www.city.masuda.lg.jp/kanko_bunka_sports/kankojoho/index.html ●益田市ホームページ「歴史・文化財」 https://www.city.masuda.lg.jp/kanko_bunka_sports/rekishi_bunkazai/index.html ●一般社団法人益田市観光協会ホームページ https://masudashi.com/ 				